

東京大学社会科学研究所・大沢真理・佐藤岩夫編
『ガバナンスを問い直す（Ⅰ・Ⅱ）』（東京大学出版会・近刊）

目次

『ガバナンスを問い直すⅠ——越境する理論のゆくえ』

序論「ガバナンスを問い直す——なにが問題か」大沢真理

第Ⅰ部 ガバナンスとはなにか

第1章「政治思想史におけるガバナンス」宇野重規

第2章「経済ガバナンスの目的と手段」加藤晋

第3章「ガバナンス・アプローチとEU研究」平島健司

第Ⅱ部 なぜガバナンスか

第4章「企業統治と法制度の役割——会社法制を中心に」田中亘

第5章「歴史の中のガバナンス」五百旗頭薫・宇野重規

第6章「参加と協働に潜む葛藤——地域における福祉ガバナンス」朴姫淑

第Ⅲ部 ガバナンスで捉える

第7章「「再生産」とガバナンス——政治社会学から」武田宏子

第8章「世代間問題とガバナンス」佐々木弾

第9章「ガバナンス（論）における正統性問題」藤谷武史

『ガバナンスを問い直すⅡ——市場・社会の変容と改革政治』

第Ⅰ部 家族・生活・地域

第1章「家計生産のガバナンスと社会の均衡——「家事分担に関する妻の選好」を例に」
不破麻紀子

第2章「日本における女性就業の地域差」安部由起子

第3章「多極化する都市空間のガバナンス——境界を開く法の役割」高村学人

第4章「災害と民主主義・多様性——リスク・ガバナンスの3次元理論に向けて」
スティール若希

第Ⅱ部 市場・企業

第5章「株主価値最大化がもたらすもの——労使関係論から」南雲智映・中村圭介

第6章「経済政策のガバナンスとは——構造改革は事態を悪化させた」大瀧雅之

第Ⅲ部 改革政治

第7章「イギリスにおける政権交代と福祉ガバナンスの変容」今井貴子

第8章「消費税増税と日本のガバナンス」グレゴリー・W・ノーブル

第9章「「政治の司法化」とガバナンス」佐藤岩夫

総括「本プロジェクトの意義と拓かれた課題」大沢真理・佐藤岩夫